

第六十三回帝國議會
衆議院

製絲業法案委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和七年八月三十一日(水曜日)午後零時六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 生田 和平君

理事加藤 知正君 理事矢野 晋也君

理事小山邦太郎君

横川 重次君 有馬 淺雄君

近藤壽市郎君 青木 精一君

百瀬 渡君 川淵 洽馬君

戸田 由美君 武田德三郎君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 松村 謙三君

農林省蠶絲局長 入江 魁君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
製絲業法案(政府提出)

○生田委員長 是ヨリ開會致シマス、本日

ハ議事ノ都合ニ依リ、先ヅ政府提出製絲業
法案ヲ上程致シマス、討論ニ入リマス

○青木委員 私ハ本案ニ對シテ修正案ヲ動
議トシテ提出致シマス、即チ本案第四條第
一項中「一年」トアルヲ「二年」ニ改ム、
同條第二項中「一年」トアルヲ「二年」ニ

改ム、附則中「十年間」ヲ削除ス、附則但

書ヲ削除ス、ソレダケノ修正動議ヲ提出致

シマス、ソレカラ本案ヲ可決スルニ當リマ

シテ、附帶決議ト致シマシテ左ノ通り提出

致シマス「政府ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミ原蠶種

國家統制、生絲販賣統制其他共同施設助成

ニ關スル法律案ヲ次期議會ニ提出シ以テ蠶

絲業根本政策ヲ確立シ併セテ本法案ヲシテ

更ニ一段ノ效果アラシムベシ」以上

○加藤委員 私ハ只今ノ青木君ノ修正意見

ニハ、大體ニ於テ之ヲ贊成スル者デアリマ

ス、併ナガラ本法案ノ一部ニ對シテハ反對

ノ意見ヲ有スル者デアリマシテ、全部ニ盲

從スル意味デハアリマセヌ、併シ其一部ノ

反對意見モ、既ニ我黨ニ於テ先刻黨議ヲ以

テ之ヲ認メタノデアリマスカラ、黨員トシ

テハ其黨議ニ服從スルノガ當然ト心得マシ

テ、已ムヲ得ズ之ニ服從シ贊成スルモノデ

アルト云フコトヲ茲ニ言明シ、本案ノ將ニ

可決セラレントスルニ當リマシテ、一言意

見ノ存スル所ヲ申上ゲ、政府當局ニ警告ヲ

致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、諸

君、御承知ノ如ク政府ハ此非常時ノ臨時議

會ニ對シ、時局匡救、農村救済トハ全ク懸

離レタ沒交渉ノ本案ヲ提出セラレ、是ヨリ

モ更ニ急ヲ要スル蠶絲業關係ノ法案ガ幾多

アルニモ拘ラズ、何故ニ之ヲ提出セザリシ

カト云フコトニ付テ、私及私ノ同僚諸君カ

ラ屢々質問セラレタノデアリマス、ケレド

モ遂ニ吾ミヲシテ此點ニ於テ首肯セシムル

ニ足ルダケノ辯明ヲ承ルコトガ出來ナカッ

タノハ、私ノ頗ル遺憾トスル所デアリマ

ス、尙ホ本法案ノ眼目トモ云フベク、又骨

子トモ云フベキ釜數制限、即チ此免許制度

ニ付テ釜數制限ヲ設ケラレタコトノ如キ

ハ、全ク時代遅レノ甚シキモノデアリマシ

テ、何故ニ他ニ免許制度ノ基準ヲ求メラレ

ナカッタカト云フコトヲ怪シマザルヲ得ヌ

ノデアリマス、此點ニ付キマシテモ、政府

當局ノ説明ヲ再三再四承リマシタケレド

モ、是亦私ヲシテ首肯セシメ得ザリシモノ

アリシハ、第二ノ遺憾トスル所デアアルノデ

アリマス、而モ此點ガ修正セラレズシテ、

本案ノ通過ヲ見ントスルノデアリマスカ、

萬一政府當局ニシテ本案ノ通過ニ其意ヲ安

ンジ、是ガ助成機關ノ完備ヲ怠リ、其施設

付託議案

製絲業法案(政府提出)

日本蠶絲株式會社法案(胎中楠右衛門君外二名提出)

原蠶種國營法案(胎中楠右衛門君外二名提出)

製絲業法案(胎中楠右衛門君外二名提出)

輸出生絲販賣統制法案(胎中楠右衛門君外二名提出)

運用ヲ誤リマシタナラバ、本法ノ制定ハ寧

ロ角ヲ矯メントシテ牛ヲ殺スノ結果ヲ招來

スルコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明ナルコトヲ

私ハ茲ニ斷言シテ置キマス、故ニ政府當局

ハ、後年ニ及ンデ私ヲシテ徒ニ先見ノ明ヲ

誇ラシメルヤウナコトノナイヤウニ、本法

案ノ運用ニ付テ十二分ノ注意ト努力ヲ拂ハ

レンコトヲ切ニ希望スルノデアリマス、只

今青木君ノ修正ノ外ニ附帶條件トシテ列舉

セラレタル外ニ、私ハ政府當局ニ對シ希望

セント欲スルモノハ、第一、製絲金融機關

ニ對シ特ニ圓滿流通ノ途ヲ講ジ、第二、更

ニ蠶絲業ノ各團體ニハ必ズ指導員ヲ設置セ

シムルヤウニ、之ガ助成金交付ノ途ヲ開

キ、第三、一面蠶取引ノ公正ヲ期セシムル

爲メ、蠶檢定所ノ發達ニ對シ大ニ之ガ助成

ノ方法ヲ立テ、第四、更ニ進ンデハ乾繭取

引ノ徹底の方策ヲ立ツルヤウニ今ヨリ十分

御留意アリテ、次期議會ニハ必ズ立案提出

セラル、ヤウ切ニ希望致ス次第デアリマス

○生田委員長 一寸加藤君ニ御尋致シマ

ス、只今ノ加藤君ノ御述ニナッタ所ハ、原

則トシテハ青木君ノ修正動議ニ御贊成デア

ルト認メテ宜シイノデスカ

○加藤委員 只今委員長ノ御尋ノ通り、原則トシテハ之ニ賛成ヲ致シマス、唯無條件賛成デナイト云フコトヲ玆ニ表明スルノデアリマス

○小山委員 私ハ只今青木委員ノ修正意見竝附帶決議ニ賛意ヲ表シ、他ハ舉ゲテ原案ニ賛成致ス者デアリマス、我國ノ蠶絲業ニ對スル根本的國策ノ樹立ハ、多年同志ノ間ニ盛ニ提唱セラレタル所デアリマス、此度政府ノ提案セラレマシタ製絲業法ハ、僅ニ

其一端ヲ表シタニ過ギマセヌ、隨テ全般ヨリ之ヲ見レバ不足ノ點ハ多々アルノデアリマスケレドモ、吾ミノ最モ希望スル所ノ輸出生絲ノ販賣統制ニ關スル點、竝ニ蠶絲業國家統制ニ關スル點、何レモ政府ハ十分ノ研究ヲ速ニ重ネ、次期議會ニハ少クトモ之ヲ提案スルノ誠意ヲ示サレタノデアリマスカラ、其誠意ニ信賴致シマシテ、私ハ此案ニ賛成ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ附帶決議ノ中、共同施設ニ關スルモノガアリマシガ、取別ケ乾繭ノ取引ヲ普及徹底セシムルコトハ、養蠶業者ヲシテ其生産品ノ販賣ノ時期ヲ選擇スル自由ヲ得セシムルノデアリマシテ、此點ハ勳モスレバ養蠶業者ニ對シテノ取引上ノ壓迫ニ對スル非難ノアル場合

ニ、之ヲ取除ク方法トシテハ此外ニ途ハナイト思ヒマス、隨テ此點ニ對シマシテハ、特ニ其普及徹底ニ力ヲ注イデ戴キタイト云フコトヲ重ネテ申上ゲ、此案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○生田委員長 只今加藤君竝ニ小山君ノ贊成ノ御發議ガアリマシタ、之ヲ御諮リ致シマス、青木君ノ修正ノ動議竝ニ附帶決議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○生田委員長 起立全員、只今ノ修正案竝ニ附帶決議ハ決セラレマシタ、此際政府ノ本修正ニ對シ又附帶決議ニ對スル御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 只今ノ修正ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ通過致シマシタ以上ハ、政府ハ全部修正ニ同意ヲ致シマス、尙ホ附帶決議ニ付キマシテハ、必ズ次ノ議會ニ出シ得ルトハ此處デ申上ゲ兼ネマスケレドモ、出來得ル限り勉強致シマシテ、サウシテ御趣意ニ適フヤウニ相努メル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○生田委員長 諸君ニ申上ゲマス、只今政府ハ青木君ノ修正動議竝ニ附帶決議ニ對シテ賛意ヲ表セラレマシタ、尙ホ此修正案及

附帶決議案ノ整理ハ委員長ニ御一任ヲ願ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「ニ呼フ者アリ」〕

○生田委員長 尙ホ修正シタ残りノ本案全部ヘ政府案ニ賛成トシテ、本案ノ成立ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○生田委員長 然ラバ本案ハ決定セラレマシタ

○青木委員 サウスルト武田徳三郎君提出ノ製絲業法案ハ、本案ガ成立シテ殆ド同様ノ内容デスカラ、一事不再理ノ原則ニ依テ自然消滅トナルベキモノデアルト私ハ解釋シマスガ、委員長ハ其點ニ付テ御處理ヲ願ヒマス

○生田委員長 是ハ先例ニ依テ自然消滅ニナルト考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス、是ニテ散會シマス、尙ホ胎中楠右衛門君外二名提出ノ残りノ三案ニ對シテハ、委員會ヲ開キマス時ハ公報ヲ以テ申上ゲマス

午後零時二十一分散會